

平成 22 年 3 月度第 2 回街づくり委員会議事録

日時：’ 10-3-19（木）19：30～21：30

場所：平野市民センター第 1 会議室

出席者：雨宮、橋本、奥村、戸所、寺井、上原、杉本、中井、竹吉、森川、倉橋、船岡、北岡、乾
大津市）名島、高田（交通建設監理課参事）、木田（同技師）

議事内容：

1. 大津市からの報告

高田参事より、膳所駅周辺地区の整備基本構想における、交通バリアフリー化事業の検討状況につき以下の報告があった。

21 年度は膳所駅周辺地区を重点整備地区に選定し、現状把握と課題の整理を行い 3 月の市議会で整備の方向性を提案した。22 年度は、JR 膳所駅の橋上化と併せた整備計画を推進協議会で審議するとともに、アンケート、団体ヒアリング調査、パブリックコメント等を実施して 23 年 3 月に基本構想の策定を行う予定である。質疑応答の主なものは以下の通り。

①整備計画のスケジュールはどのようになっているか？

⇒大津駅周辺地区の整備事業は H14 年に始まり H22 年で終了する。膳所駅周辺地区の整備も同じようなペースになるだろう。

②アンケート、団体ヒアリングはどのようにやるのか？

⇒施設利用者へのアンケートやヒアリングを行う。アンケートでは 1 施設当たり 50 人規模を見込んでいるが未定である。

③本事業推進上、わが街つくる会の関与のあり方はどのようになるのか？

⇒推進協議会メンバーとして自治連会長に加わって頂いている。従って基本的には自治連を通して意見具申をいただくのがよい。住民の意見は参考にして行く。

2. ぐるっと平野号の今後の進め方について

雨宮会長より、以下の 3 点について方向性を見出したいとの提案があり議論した。

①自家用車をリースしての自主運営による住民輸送事業をどうするか

②行政と一体となった平野学区の公共交通充実化への取り組みをどうするか

③一般社団法人設立への取り組みをどうするか

その結果、委員会では以下の通りに進めて行くことで合意した。

①について

運輸局は法的に駄目だとは断言していないが、実行に当たっては事業の永続性、採算性、運行の安全性等の点から実現は難しいとの見解であり、現時点では断念せざるを得ない。ただし、住民のニーズがある限り今後も実現可能な案、例えばバス

会社への委託事業としての展開、志賀町等と連携した取り組みの可能性等新たな方を模索し次の展開に備えて行くこととする。

4月の自治連定例会にて現在までの経緯、今後の課題等について整理して報告する。鶴の里、リーデンススクウェアからの住民説明会開催希望に対しては、事情を説明して実施を中止する。また、膳所駅前に掲げているぐるっと平野号のPR看板についてはしかるべき時に撤去する。

②について

天津市地域公共交通活性化協議会に参画し、行政と連携した平野学区の公共交通網の充実を図る取り組みについては、協議会の仕組み等十分調査して対応して行く。手始めに3月23日に開催される協議会を会長他有志委員が傍聴する。

③について

今秋10月1日からの「ぐるっと平野号」自主運行計画を断念せざるを得なくなったことより、一般社団法人の4月1日設立目標を白紙に戻す。今後は法人設立の意義を再検証し、体制を整えて設立に向けた行動を継続して行く。

3. 次回委員会の開催について

次回委員会は4月1日(木)19:30より、市民センター第一会議室にて開催します。なお、22年度の定例委員会は原則、毎月第1、第3木曜日19:30から、市民センターにて開催いたします。

以上